

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
●单元未済株式の買取請求 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法のご指定	口座を開設されている証券会社
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

CRIE
クリエアナフキ



第29期

中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

CRIE
クリエアナフキ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第29期第2四半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧ください。

当社グループは前期において、上場来初めてとなる営業利益段階での赤字を経験いたしました。大半の事業が堅調に推移し、経費削減も進んでいるなか、不本意すぎる決算に終わってしまった原因は、主力の人材派遣事業の不振に尽きると言えます。

翻って派遣市場を取り巻く環境を見てみますと、景気の緩やかな回復を受けて、雇用情勢は着実に改善しつつあります。労働者派遣法の改正により、派遣労働者の受入に係る期間制限がなくなれば、企業の派遣需要が増加し、市場が再び成長を始めると期待されます。

売上高の6割近くを占め、利益率が比較的安定している人材派遣事業が復調すれば、当社グループの収益状況が改善に向かうのは自明のことです。そのためにも、まずは、市場の追い風を効率的に利用すべく、当社グループが優位性を有する四国に戦力を集中し、四国重視の営業方針を徹底することで、業績の早期回復を確実にしたいと考えております。

安倍首相が繰り返し述べられているように、日本の輝ける未来の実現には「地方創生」と「女性の活躍」が不可欠だと思います。奇しくもこの2つの課題は、

人材派遣をはじめとする多様な人材サービスの提供を通して、「四国」を中心に「女性」や若者の雇用創造に取り組んでいる当社グループの社会的使命と合致いたします。

当社グループは、自らの使命を果たし続けることで、日本経済の成長とともに、四国は勿論、やがては「中四国No.1」の総合人材サービス会社へと成長していきたいと考えております。

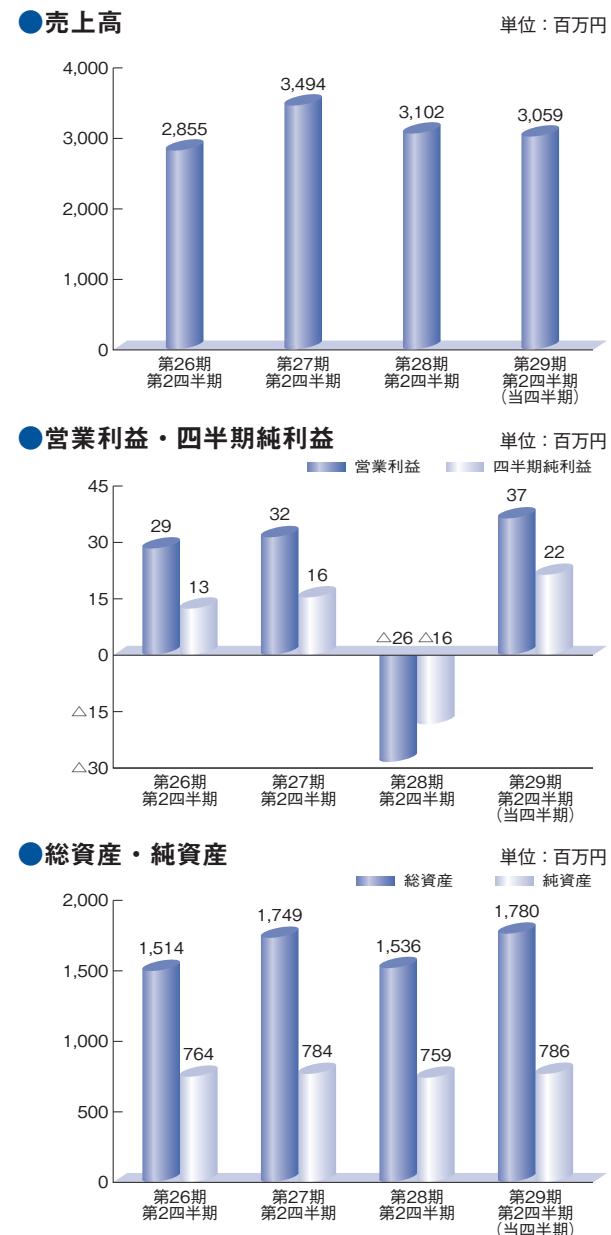
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役社長 藏田 徹

経営指標の推移（連結）



事業の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、一部に弱さが見られたものの、設備投資が増加するなど、景気は緩やかな回復基調を辿りました。

人材サービス業界においては、完全失業率が低下傾向で推移し、有効求人倍率が上昇するなど、雇用情勢が改善しつつあります。また、派遣労働者の受入れ期間の上限を撤廃する法改正が予定されるなど、雇用分野の規制改革が進もうとしております。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、派遣市場の活性化に資する制度変更を前に、これを追い風として再成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、同地域での売上高・市場シェアの拡大をめざしております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力の人材派遣事業での減収により、売上高が3,059,725千円（前年同四半期比98.6%）にとどまりましたが、収益性が高い人材紹介事業や再就職支援事業が好調に推移したことなどから、営業利益は37,536千円、経常利益は40,144千円、四半期純利益は22,356千円となり、いずれも2年ぶりの黒字を計上することができました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

人材派遣

当事業の売上高は1,862,371千円（前年同四半期比96.3%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、平成26年4月に香川県丸亀市に支店を設置するなど、優位性を有する四国において可及的速やかに圧倒的な地位を確立すべく、同地域での営業体制の強化を進めております。前期中に期間制限がある自由化業務に係る派遣契約の満期終了が相次いだ結果、前年同四半期との対比では売上高が減少したものの、新規契約数が堅調に推移するなど、持ち直しの動きが鮮明になってきました。

アウトソーシング

当事業の売上高は1,016,648千円（前年同四半期比102.2%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、前年同四半期に比べ取引先数が増加したことなどから、当該期の実績を上回りました。

人材紹介

当事業の売上高は84,660千円（前年同四半期比117.7%）となりました。

収益性が高い当事業については、中四国を中心に、幅広い層を対象とした求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、前年同四半期の実績を上回りました。なお、東名阪の3支店においては、Uターン転職支援に力点を置くなど、これまで以上に四国を意識した戦略を展開しております。

再就職支援

当事業の売上高は24,250千円（前年同四半期比829.3%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国を中心に地道な営業活動を展開した結果、大型案件の受注があり、前年同四半期の実績を大きく上回りました。

IT関連

当事業の売上高は50,483千円（前年同四半期比69.0%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、前期に引き続き、マイクロソフト社SharePointに関する技術者向けトレーニングが人気を集めました。しかし、動画を用いた新商品の開発に向けて、時間的な制約から受託件数を抑制した結果、前年同四半期の実績を下回りました。

その他

研修・測定サービスなど、上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で21,311千円となりました。

経理の状況

● 連結貸借対照表

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,449,322	1,547,567
現金及び預金	694,121	844,283
売掛金	684,706	622,213
仕掛品	279	598
原材料及び貯蔵品	1,181	799
前払費用	26,003	35,967
繰延税金資産	41,369	41,839
その他	3,095	2,766
貸倒引当金	△ 1,435	△ 900
固定資産	243,348	233,011
(有形固定資産)	(19,214)	(21,813)
建物	10,838	10,531
工具、器具及び備品	8,212	11,117
その他	163	163
(無形固定資産)	(95,783)	(81,242)
のれん	68,716	56,936
ソフトウェア	22,835	20,104
電話加入権	4,188	4,188
その他	42	13
(投資その他の資産)	(128,350)	(129,955)
投資有価証券	9,357	11,882
繰延税金資産	22,480	22,962
差入保証金	95,083	94,143
その他	1,428	966
資産合計	1,692,670	1,780,578

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単位：千円

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	693,867	783,040
短期借入金	26,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	39,464	39,464
未払金	71,933	96,362
未払費用	428,687	395,979
未払消費税等	48,606	137,029
未払法人税等	9,159	18,879
預り金	10,598	11,500
賞与引当金	54,292	59,715
その他	5,124	4,110
固定負債	229,548	211,119
長期借入金	167,704	147,972
退職給付に係る負債	61,844	63,147
負債合計	923,415	994,160
【純資産の部】		
株主資本	761,469	776,887
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	412,396	427,814
自己株式	△ 6,646	△ 6,646
その他の包括利益累計額	131	157
その他有価証券評価差額金	131	157
少数株主持分	7,654	9,373
純資産合計	769,254	786,418
負債純資産合計	1,692,670	1,780,578

●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	3,102,998	3,059,725
売上原価	2,539,506	2,434,869
売上総利益	563,491	624,856
販売費及び一般管理費	590,015	587,320
営業利益又は営業損失(△)	△ 26,523	37,536
営業外収益	2,947	4,712
営業外費用	1,257	2,104
経常利益又は経常損失(△)	△ 24,833	40,144
特別損失	—	423
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 24,833	39,721
法人税、住民税及び事業税	6,199	16,612
法人税等調整額	△ 14,322	△ 966
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 16,711	24,074
少数株主利益	185	1,718
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 16,896	22,356

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 106,981	185,941
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 6,354	△ 3,041
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 15,264	△ 32,738
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△ 128,599	150,162
現金及び現金同等物 の期首残高	703,760	695,121
現金及び現金同等物 の四半期末残高	575,160	845,283

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



クリエアナブキ 検索

<http://www.crie.co.jp/>

会社の状況

●会社概要（平成26年9月30日現在）

商号	株式会社クリエアナブキ
本店	香川県高松市磨屋町2番地8
設立年月日	昭和61年(1986年)4月11日
資本金	2億4,340万円
従業員数	92名(男性42名、女性50名)
主要な事業内容	人材派遣、アウトソーシング、人材紹介、再就職支援、組織人事コンサルティング、研修・測定サービス
連結子会社	株式会社クリエ・ロジプラス 株式会社クリエ・イルミネート

(注) 平成26年9月15日をもって、香川県高松市鍛冶屋町7番地12から上記の場所に本店を移転しております。

●株式の状況（平成26年9月30日現在）

発行可能株式総数	9,000,000株
発行済株式の総数	2,340,000株(自己株式27,400株を含む。)
株主数	621名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリエアナブキ従業員持株会	82,800株	3.6%
島津実義	67,200株	2.9%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
北中壽一	22,000株	1.0%
山下博	21,000株	0.9%

(注) 持株比率は、自己株式(27,400株)を控除して計算しております。

●役員（平成26年9月30日現在）

取締役会長	穴吹忠嗣
代表取締役社長	藏田徹
取締役	上口裕司
取締役	北村ひとみ
取締役	大谷佳久
常勤監査役	福田清之
監査役	柳瀬治夫
監査役	桑島美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

●主要な事業所（平成26年9月30日現在）

